

全国子ども会連合会ユース 運営要項

(名称及び事務局)

第1条 この会は、全国子ども会連合会ユース（以下略称：全子連ユース）と称し、事務局を公益社団法人全国子ども会連合会事務局内に置く。

(組織)

第2条 この会は、全国のシニア（ユース、青年等）・リーダー（以下：シニア・リーダー）から、都道府県・指定都市子連代表者の推薦があり、公益社団法人全国子ども会連合会（執行理事会）で承認されたものを会員とする。

2 人数は各都道府県・指定都市子連より原則2名以内とする。

3 推薦にあたっては次の要件を満たす者とする。

(1) 社会教育団体としての子ども会の活動におけるシニア・リーダーの役割を十分に自覚していること。

(2) 子ども会活動の支援やジュニア・リーダーの育成に熱意があり、またその力量や実績が備わっているシニア・リーダーズクラブの幹部経験者、あるいは同等以上の指導力や影響力、資質が備わっていること。

(3) 今後、全子連ユースでの成果を各地域に持ち帰った際、現場で指導的な立場で臨める者であること。

4 年齢は、概ね40歳までとする。

5 必要に応じてアドバイザーを置くことができる。

(目的)

第3条 この会は、多くの子ども会関係者と緊密に係わり合いながら、子ども会のジュニア・リーダー、シニア・リーダーの育成を始めとする、各地域の子ども会活動の発展、育成に貢献する事業を行うとともに、個人の資質向上に努め、子どもの社会生活に必要な特性の涵養、及び子どもの健全育成に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この会は、前条の目的を達成するために次の事業行う。

(1) 都道府県・指定都市子連のシニア・リーダーの組織化と強化支援（組織強化支援）

(2) ジュニア・リーダーの指導、育成支援（育成支援）

(3) 全子連中央会議等の事業関係の支援（事業支援）

(役員)

第5条 この会に次の役員をおく。

(1) 会長 1名

(2) 副会長 2名

(3) 書記 2名

(4) 組織強化支援部、育成支援部、事業支援部、各部長 1名

(役員の職務)

第6条 会長は、この会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長不在時には、その職務を代行する。

3 書記は、この会の事業、会務の記録保管、広報をする。

4 部長は、会長の命を受けて、会務を分担する。

(役員の選出と任期)

第7条 この会の役員は、会員の中から総会において選出し、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(会議)

第8条 総会は年1回以上開催する。

2 総会は、会員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数によって議決とする。

3 役員会は、必要に応じて開催することができる。

(総会)

第9条 総会は、年1回会長が招集する。ただし、会長は臨時総会を招集することができる。

2 総会は次の事項を審議、決定する。

(1) この会の事業について

(2) この会の規約の改廃

(3) この会の役員選出

(4) その他重要事項

(役員会)

第10条 役員会は、この会の役員を以て構成し、会長が招集して、必要なことを協議する。

(収入)

第11条 この会の収入は次のものを以て充てる。

(1) 会員から徴収する会費

(2) 補助金、助成金、寄付金

(3) その他の収入

(会計年度)

第12条 この会の会計年度は、当年4月1日から始まり、翌年3月31日で終わる。

附則

この運営要項は、平成30年6月16日から施行する。

(役員の職務)

第6条 会長は、この会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長不在時には、その職務を代行する。

3 書記は、この会の事業、会務の記録保管、広報をする。

4 部長は、会長の命を受けて、会務を分担する。

(役員の選出と任期)

第7条 この会の役員は、会員の中から総会において選出し、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(会議)

第8条 総会は年1回以上開催する。

2 総会は、会員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数によって議決とする。

3 役員会は、必要に応じて開催することができる。

(総会)

第9条 総会は、年1回会長が招集する。ただし、会長は臨時総会を招集することができる。

2 総会は次の事項を審議、決定する。

(1) この会の事業について

(2) この会の規約の改廃

(3) この会の役員選出

(4) その他重要事項

(役員会)

第10条 役員会は、この会の役員を以て構成し、会長が招集して、必要なことを協議する。

(収入)

第11条 この会の収入は次のものを以て充てる。

(1) 会員から徴収する会費

(2) 補助金、助成金、寄付金

(3) その他の収入

(会計年度)

第12条 この会の会計年度は、当年4月1日から始まり、翌年3月31日で終わる。

附則

この運営要項は、平成30年6月16日から施行する。

今回の運営会議の位置づけについて

全子連ユース準備会議 鳥取県 SLC 妹尾光幸

本日はお忙しい中、「全国ども会連合会ユース」の運営会議にご出席いただきありがとうございます。

本日の運営会議は、数年かけて土台を固め、全国的に意識の高揚を図ってきた本会の本格的な発足・会の執行開始を狙うものとなっています。

現在、全国子ども会連合会（以下全子連）内部では、「子ども会未来委員会」、「地区子ども会推進研究会」、「全子連ユース」といった3本柱で子ども会の今後の在り方や行うべきアプローチについて議論を進め、また事業の企画や運営をしていく準備が整いつつあります。その中でも、子ども会の未来に新たな光をもたらす存在としてシニア・リーダー（青年リーダー等呼称は様々な子ども会の若手指導者、以下S・L等）の重要性が全国的に再確認されています。

本会は、そのS・Lの中でも更に指導的な存在として各県にて活躍しておられる皆様による、「若手指導者の、若手指導者による、子ども会員と育成者のための子ども会の担い手」として発足し、全子連会長と、「子ども会未来委員会」、「地区子ども会推進研究会」と連携しつつ、全国の子ども会に必要な事業を若手指導者の切り口から具現化していくことになります。

本日の会議ではそのための組織形態や、事業ごとの役割分担、個々の担当に至るまでを確定し、明日からでも本会の事業が進んでいくことになります。

是非とも本会議のスムーズな進行にご協力いただき、一致団結して明日の子ども会への大きな一歩を一緒に踏み出していきたいと思えます。

全子連ユースとは

各都道府県・政令指定都市より推薦を受け、自身が各地の代表者であり、全子連、各所属機関からの期待と、今後の子ども会を担う存在である。
（担う…中心となって活躍すること）

全子連ユース会員心得

- ・常に向上心を持ち、プラスプラス思考で、子どもファーストを念頭に置いて活動する。
（念頭に置く…常に心がけること）
- ・能力や実力の出し惜しみをせず、得意分野で自身の力を存分に発揮する。
- ・固定観念にとらわれず、自由な発想をし、失敗を恐れず行動する。
- ・全子連ユース会員であることに誇りを持ち、自身の言動に責任を持たなければならない。

以上のことを心得とし、
仲間を尊重し、敬意を払い、良好な人間関係及び信頼関係を築きます。
初心を忘れることなく、誠心誠意、未来を担う子どもたちのために尽力します。

全子連ユース会員レギュレーション

- ・各自に割り振られる仕事は任務であり、各自は任務を遂行する義務がある。
（任務…責任を持って果たすべき務め）
（義務…人がそれぞれの立場に応じて当然しなければならない務め）
- ・約束や締切を守る。
やむを得ず守れないことがある場合は、必ず事前に上長に報告を行い了承を得る。
- ・ユースの活動は円滑に進めるため、全子連より旅費が発生している。
そのため旅費申請書と必要書類は、会議終了後一週間以内に全子連事務局へ提出する。
- ・運営に関わる提案や議論、報告等は包み隠さず共有し、明瞭なユース運営を行う。
- ・ユース会員及び全子連事務局と、メールやSNS（LINEや全子連ユース用掲示板）等を利用し、各会議や研修等の情報共有、討議、報告、連絡、相談等の場を設ける。
その場合、必ず情報を受信した意思表示を行う。（LINEであればいいねをする等）
- ・自己都合等で退会する場合は、速やかに各所属機関、全子連、ユース会員へ報告する。
また、法律や規則に反するような行動や、疑わしい行動が見受けられる場合は、即刻ユース会員から退会させる。

上記の規則に反し、子ども会と全子連ユースの尊厳を傷つけることがあった場合、自主退会し、再入会は認めないこととする。

全国子ども会連合会

全国子ども会連合会ユース（全国各都道府県から推薦された若手指導者の筆頭的立場の集団）

子ども会未来委員会

地区子ども会推進
研究会

執行部

代表 会を代表し、統括する。

副代表 会長の代行等

副代表 会長の代行等

幹事 事業支援部長

幹事 組織強化支援部長

幹事 育成支援部長

書記 会議録・資料の作成、
掲示板などの管理

書記 会議録・資料の作成、
掲示板などの管理

事業支援部

シニア・リーダー研修会の運営、全子連中央会議等の事業関係支援を行う。
それぞれの事業ごとにさらに役割分担をし、資料の作成、受付や進行、まとめの作成などを行う。執行部外のユース会員から副部長を置く。

組織強化支援部

各都道府県・指定都市子連の現状を把握し、シニア団体の組織をよりいっそう強化するにはどのような活動をしていくかを考え実行する。（シニアが無いところにはシニアをアピールし、新しく立ち上げたい地域への支援等）
まずは各県の実態拍のアンケート調査から行う。執行部外のユース会員から副部長を置く。

育成支援部

シニア・リーダー、ジュニア・リーダー等の技術向上の為、書籍・刊行物などの制作を行う。まずはシニア・リーダー手帳として各地の若手指導者が自信をもって指導者活動ができるようになるための物を発行する。
執行部外のユース会員から副部長を置く。

組織強化支援

都道府県・指定都市子連のシニア・リーダーの組織化と強化支援

役割

各都道府県・指定都市子連の現状を把握し、シニア団体の組織をよりいっそう強化するにはどのような活動をしていくかを考え実行する。（シニアが無いところにはシニアをアピールし、新しく立ち上げたい地域への支援等）

手段

シニア団体の現状把握のため各都道府県に対してシニアの現状、実態についてのアンケートを作成（シニア団体の有無、実際どんな活動をしているか、シニアに望むもの、シニアの位置づけ等）

アンケート結果を集計し、各都道府県・指定都市子連の組織をより一層強化するためにはどのような活動をしていくかを考え実行できるようにしていく。

条件

各都道府県子連へアンケートをお願いするために、また、各ブロックの現状を把握しやすいように各ブロックから1名以上お願いし、10名くらいで構成する。

事務局さんと連携・繋がりを持てる人が好ましい。

シニアとはこういうもの、こうあるべき、こうあって欲しいという思いを持っているシニア歴長めの人好ましい。

育成支援部

役割

ジュニア・リーダー（以下ジュニア）の指導、育成支援をする。

ジュニアの指導・育成支援を担当するシニア・リーダー（以下シニア）の育成支援をする。子どもたちや、ジュニアをどのように育成したらよいか分からない、自信がない、迷いがあるシニアを助ける。

ジュニアや、シニア同士がお互いに成長し続け、学びを止めず、モチベーションが上がるような効果的な方法を考え、実行する。

手段

ジュニア・シニアを育成するための、シニア手帳（仮：以下、手帳とする）を作成する。

ジュニア・シニアが身につけるべき基本的な知識やマナー、誰が見ても分かりやすく、即実践できるような役に立つ内容を盛り込む。

子ども会 Step for Junior Leader' s を基にして、より現状に合っている手帳を作成する。

条件

現在、シニアの育成に直接関わっている者

シニア歴が長く、ジュニア・シニアに、これは身につけて欲しい、これは教えたい・伝えたいという思いがあり、若手シニアの気持ちに寄り添うことができる者

シニア歴が浅く、手帳のような教本を基に指導したいと思っている者

前者と後者のバランスをとって、各ブロックから1名程度が望ましい。

事業支援部

全子連中央会議等の全子連事業関係支援

役割

シニア・リーダー研修会の運営、全子連中央会議等の事業関係支援を行なう。

シニア・リーダー研修会

→企画・運営・進行等

全子連中央会議

→担当部会の進行、ファシリテーター

条件

シニア・リーダー研修会、全子連中央会議のいずれか参加が出来ることが望ましい。

① 9月全国シニア・リーダー研修会の内容について

◎ 主旨、目的の決定

目指すところ、研修会のゴールはどこに定めるのか

全子連ユースから、研修会参加者に求めるもの・持ち帰ってほしいもの

研修会参加者から、全子連ユースに期待・求めているもの等

◎ 開会式、閉会式等の司会（ふだん御園生さんが担当してくれている部分）

ユースで行います。司会者を決定して、御園生さんと要相談、打合せしてください。

◎ プログラムテーマ、内容の決定（別紙①、②参照）

・プログラム① 9月22日（土） 14:00 ～ 18:00

研修室を1部屋準備しています（120人部屋）

掲示板で行いたい内容を募集し、実施可能なものを時間の中で割りましょう

グループワークにするのか（1グループ何名にするのか）

講師によるものにするのか（講師選考、依頼、講師謝礼等のこと）

導入（つかみ）は誰がどうするのか、最後は誰がどのようにまとめるのか

時間の使い方をどうするのか

（1つのテーマを延々やるのか、時間を区切って複数テーマをもつのか）

講評・総評を誰に依頼するのか、司会者・書記・グループにユースをつけるのか

その他準備物など

・情報交換会での成果発表

別紙①に記載しました。司会者を決めて、流れを考えてください。

・プログラム② 9月23日（日） 9:00 ～ 12:00

研修室を2部屋準備している（120人部屋と40人部屋）

テーマについて… これまでの研修会では全員で同じ研修を受けていましたが、歴
や年齢差で考えの幅が開きすぎていることがあったので、近い存在
で意見交換することでもっと有意義な研修会になるのではないかと
考えましたので、参加者をいくつかのグループに分け、それぞれ
のテーマを決定してください。（年齢別、テーマ別、等）

ユースはどのように分かれて担当するのか

プログラム①同様に、導入や内容を決定

その他準備物など

◎ 全体会での総評、講評について

全子連の担当理事（おそらく佐々木副会長）＋もう1人ぐらい依頼する

◎ その他必要なこと

執行部で意見の出たプログラム案

・アンガーマネジメントについて

怒りの感情をうまくコントロールする手法のこと

講師に講演してもらうのも面白い内容ではないかとの意見が上がりました。

・ハンディのある子どもと子ども会支援について

ハンディのある子どもたちの参加が増えていて、どう接したらよいのか自信がないと言う意見があった。専門職についているユース会員が何人かいるので、アドバイスできることがある、これからの子ども会には必要な知識であるとのことで案に上がりました。

・単位子ども会のコンサルティングについて

単位子ども会が減っている中で、シニア・リーダーだからこそできる働きかけがあるのではないか？ 面倒だという保護者になって何かできるのではないかと？ 単位子ども会の活動が一番基本で大事！との意見から案に上げました。

◎シニア・リーダー基礎研修

妹尾先生による、【シニアとは？講義】を聴きたいとの声があった。

また、昨年度シニア・リーダーの定義が欲しい、シニアの役割を教えて欲しいとの声が多数あったので、開会式で行うことにしました。

・シニア・リーダーの先輩に学ぶ

シニアを長年続けてきた人からの話が聞きたいとの声が多数あった。

話したがり人間はたくさんいるので、そういうコマがあってもいいんじゃないかと言うことで上がりました。

◎前年度成果の結果発表

昨年、「成果を発表します」と言った人が何名かいたので、ぜひこの一年の結果発表をしてもらおうと言うことで、9月22日（土）情報交換会内で行うことにしました

①掲示板（仮）で募集を呼びかける

②時間は、30分ぐらいとっておいて、希望者の数で頭割り

（6組の希望者がいたら、30分÷6組で1組5分）

③一気に全組が発表するのではなく、歓談の合間合間で入れた方が発表する側はやりやすい？し、聞く側としても聞きやすい？かもしれません

④応募が少なかった場合、昨年の全国シニアで「来年成果を成果を発表します」と言っていた人たちにアプローチする♡

平成30年度全国子ども会シニア・リーダー研修会



プログラム

第1日目 9月22日(土)		
	日程	会場
午後	12:30 集合	①センター棟4階 402室
	13:00 開会式 全子連会長 あいさつ 全子連ユース代表 シニア・リーダーの基礎について	
	14:00 プログラム①	
	18:00 終了 部屋移動等	
	19:00 情報交換会 昨年度の活動実績の報告(希望者)	②カルチャー棟2階 レストランとき
第2日目 9月23日(日)		
	日程	会場
午前	7:00 朝食	③センター棟2階 カフェテリアふじ
	9:00 プログラム② (120人部屋と40人部屋の2部屋を予約済み) Aチーム Bチーム Cチーム? Dチーム?	①センター棟1階 102号室
	12:00 昼食	③センター棟2階 カフェテリアふじ
	13:00 全体会・閉会式	①センター棟1階 102号室
午後	14:30 終了(解散)	

【参考資料】

平成29年度全国子ども会シニア・リーダー研修会アンケート

参加者 83 人 うち 回答者 78 人

参加者年代別

～20歳 31 人

21～25歳 25 人

26～30歳 22 人

31～35歳 5 人

参加者性別

男 : 女 = 37人 : 46人

質問2. 全子連ユース

- ① 今後、全子連ユースがシニア・リーダー研修会を企画する場合、
どのような講義を受けたいですか？ より

1	話し合い活動	7%	討議
2	メンバーが全員で腹を割って話す時間		
3	ディベート		
4	前回までの復習とそのことについての討議		
5	問題改善のための話し合い		
6	現状の課題を探る		
7	事例発表	14%	発表
8	各地区いいところ・課題プレゼン		
9	全国で行っている活動実績		
10	各地区よいところ悪いところ		
11	活動報告		
12	実践報告		
13	多くの子ども会の事例		
14	それぞれの話が聞きたい		
15	じまん大会		
16	自分が一年でしてきたことの発表		
17	子ども会紹介	4%	情報交換
18	ジュニアがどんな問題を抱えているのか		
19	ジュニア定例会の進行サポート		
20	ジュニアへのレク指導	4%	情報交換
21	レク交換会		
22	ゲーム		
23	レクゲームの交換会	6%	あり方
24	シニア・リーダーとしてのあり方		
25	シニア・リーダーとは？		
26	シニアはこうでありたい、こういうべき		
27	シニアはどんな役割をしたらいいのか		
28	シニアひとりひとりが目標を持つための研修		

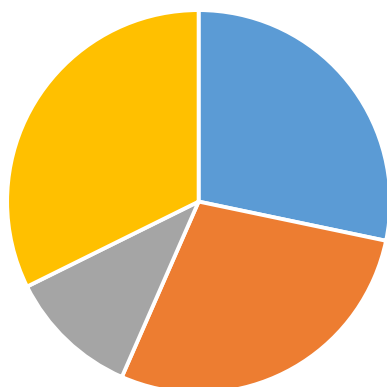
29	経験年数の多いシニアの話を聞きたい	5%	講話	
30	ヤングシニア対象にシニアの魅力を伝える			
31	参加回数の多い人が熱い思いでどんな行動をしてきたのか			
32	シニアが講師の講義			
33	上手な企画書の書き方	10%	企画	
34	企画書の書き方・企画の通し方			
35	企画			
36	企画書の書き方			
37	企画書・プレゼンの手法			
38	プレゼン力			
39	子ども会活動の魅力をプレゼンするには			
40	効果的なプレゼン方法	1%	ブランディング	
41	ブランディング			
42	SNSを使った広報活動	6%	SNS	
43	ジュニアの活動を伝えるための動画編集			
44	SNSを使った広報活動			
45	SNSで全国の子ども会発信ツール統一			
46	子ども会の存在をアピールするような動画作成と発表	5%	立ち上げ	
47	0の子ども会を1にする方法			
48	子ども会が増えた事例			
49	子ども会の存続			
50	子ども会を広めていくために	2%	会社	
51	組織の組み立て方			
52	子ども会組織を会社としたときのマネジメント	2%	お金	
53	お金の話			
54	お金の作り方	1%	対行政	
55	行政との付き合い方			
56	新しい考え方	4%	自己啓発 その他	
57	視野を広げる方法			
58	思考力を上げるような講義			
59	考えを整理する方法	1%		
60	人との関わり方	1%		
61	コーチングをもう一回	2%		
62	コーチングをもう一回			
63	自分の考えを相手にもっと伝える方法	2%		
64	元気を伝達させる方法			
65	PA	1%		
66	自信を持たせるための研修	1%		
67	人の心をつかむトーク力	2%		
68	上の人を納得させる話し方			

69	障害のこと	1%
70	ハンディのある子どもたちとの関わり方	4%
71	支援を必要としている子どもたちへの対応	
72	困り感を持つ子どもについて	
73	今の子どもたちの生活、性格や、考え方	4%
74	子どもたちの現状	
75	子どもとの関わり方	
76	子ども心理学	2%
77	小児科医師の講義(遊びの重要性について)	
78	現代の家族形態	1%
79	ファシリテーション講義	4%
80	ファシリテーターの技術	
81	ファシリテーター	

子どもに関する内容

自己啓発
その他

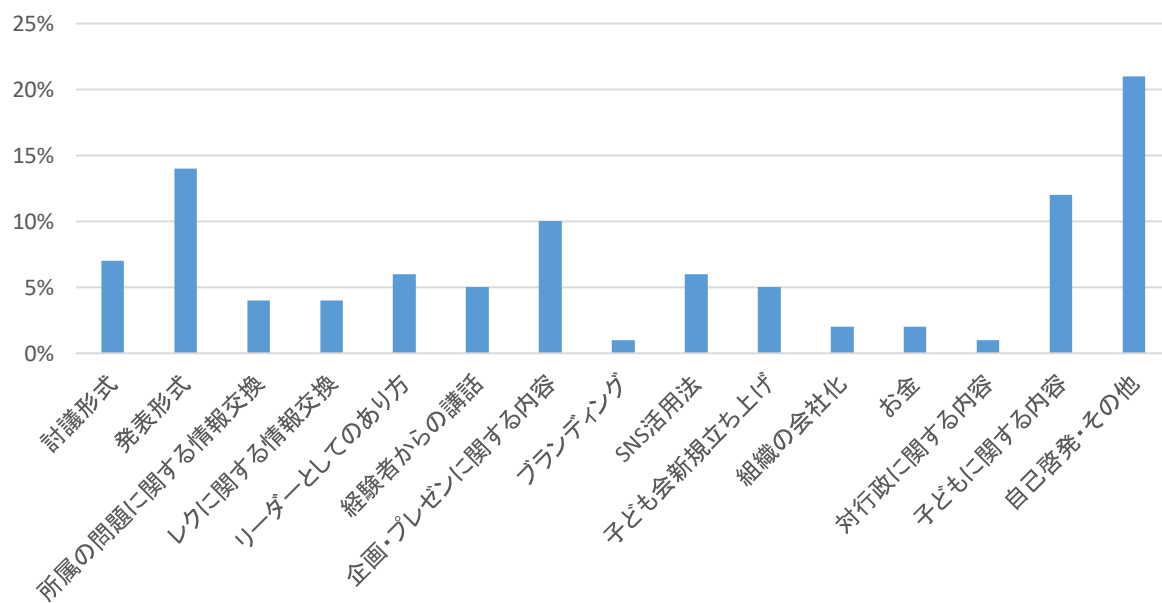
今後どんな講義を受けたいか？



■ 全員で実施 ■ ユースからシニアへ ■ ユースの役割 ■ 外部からの講演

討議形式	7%
発表形式	14%
所属の問題に関する情報交換	4%
レクに関する情報交換	4%
リーダーとしてのあり方	6%
経験者からの講話	5%
企画・プレゼンに関する内容	10%
ブランディング	1%
SNS活用法	6%
子ども会新規立ち上げ	5%
組織の会社化	2%
お金	2%
対行政に関する内容	1%
子どもに関する内容	12%
自己啓発・その他	21%

詳細内容



② 2月石川県での中央大会の分科会について

◎ 主旨、目的の決定

参加者にリピーターが多い場合…

現在の子ども会の状況把握・確認をし、今後どう展開していくか？の流れでもよいのかと思います

各都道府県子連ヘシニア実態調査をします。（2月にはその結果がでている予定）
7月名古屋での中央大会でも、シニアの活動・求めるもの等調査する予定なのでその結果を元にしたテーマを考えるのも手だと思います。

中央大会メインテーマ【明日の子ども会をより輝かせるために】

サブテーマ【・みんなで考えよう ～子ども会の将来像とは～

・子ども会支援のネットワークづくりに取り組もう】

◎ テーマ、内容の決定

例）30年7月中央大会 全子連ユース担当部会 120分

【テーマ】 これからの子ども会の中でのシニア・リーダーの役割

【内 容】 目まぐるしく様々に変化する社会環境の中、子どもや親の意識の多様化がどんどん加速している現在、遠心力が働き始めた子ども会活動を求心力に変えていかなければなりません。そのためには、シニア・リーダーの力がとても重要です。これからのシニア・リーダーの役割について議論を深めることで、今後、地域の中で期待される「人づくり」の担い手としてのリーダー像に繋がる最初の一步を共有する時間にしたいと思います。

【形 式】 ・分科会参加者60名と仮定

・1グループ7、8名で、全子連ユース執行委員を各テーブルに置く
（司会、タイムキーパーの役割）

・3つの議題について、制限時間を設け、グループごとに話し合い
個人が模造紙にマジックで記入していく方法（仮）

名古屋では持ち時間120分ですが、金沢では、午前が分科会、午後が分科会発表の流れなので、時間が長いです。

◎ 分科会の形式について

グループワークにするのか（1グループ何名にするか）

講師によるものにするのか（講師選考、依頼、講師謝礼等のこと）

導入（つかみ）は誰がどうするのか、最後は誰がどのようにまとめるのか

時間の使い方をどうするのか

講評・総評は必要か、誰に依頼するのか

司会、書記、グループごとの班付きリーダーは必要か

◎ 準備物について

模造紙、ふせん、マジック、マイク、活動発表する場合はスクリーン等、

必要であればお菓子や飲み物

その他必要なものを詳しく

シニア・リーダー実態調査

記入者の立場	都道府県子連役員・事務局	都・道・府・県	子連
	市町村子連役員・事務局	都・道・府・県	市・町・村子連
	シニア・リーダー（等）	都・道・府・県	市・町・村
		記入日	平成 年 月 日

この調査は、各都道府県子連、市町村子連のシニア・リーダーの現状を知り、シニア・リーダーに対する要望を把握し、今後のシニア・リーダー活動の参考にさせて頂きたいと思っております。

お手数ですが、選択項目は該当するものすべてに○を、また（ ）内は自由記載をお願いします。

- ① 各都道府県子連にシニア・リーダー（以下 S・L）による組織（クラブ）はありますか
有・無（現在の状況：以前はあった・現在立ち上げ中・このまま存続させたい・解散させたい）
- ② S・L 組織の正式名称をお答えください
（ ）
- ③ S・L 組織の位置づけについてお答えください
都道府県子連の下部組織、都道府県子連とは別組織、その他（ ）
- ④ 加入条件を簡単にお答えください（年齢上限、ジュニア・リーダー（以下 J・L）経験の有無、会費等）
（ ）
- ⑤ S・L 組織の活動内容を教えてください
都道府県 J・L 大会等の運営、都道府県 J・L 大会等の補助 各ブロック J・L 大会の運営
都道府県内 J・L の指導・育成 都道府県内 JLC の設立補助 都道府県内子ども会からの相談対応
各ブロック J・L 大会の補助、S・L 組織主催の事業、その他（ ）
- ⑥ 育成者と、S・L の関係はどうか
良好・良好ではないがうまくやっている・良好ではないうまくいっていない

⑦ 実際、S・Lは役に立っていますか、S・Lは必要ですか

ア．役に立つ・必要 ― それはなぜですか

礼儀正しい、性格が良い、笑顔が良い、元気がある、面倒くさがらない、信用できる、要領が良い
J・L、や子どもたちの良い手本になっている、若い力・勢いがある、役員が楽できる、責任感がある
頼りがいがある、明確な目的と努力する姿が目に見える、今後役員の力だけではやっていけない
その他（ ）

イ．役に立たない・必要ない― それはなぜですか

口が悪い、だらしない、性格が悪い、笑顔がない、元気がない、面倒くさがっている、うるさい
信用がない、要領が悪い、J・Lや子どもたちの手本にならない、若い力・勢いがない、責任感が無い
役員に負担がかかる、頼りない、どんな目的なのか分からない、役員の力だけで足りている
その他（ ）

⑩ S・Lになにを求めますか

（ ）

⑪ 全子連ユース設立に対してどのような期待をしますか

（ ）

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

皆様のご期待に添えられるよう精一杯努力して参りますので、今後もしもご指導ご鞭撻のほどよろしくお
願いたします。

全子連ユース一同

計画書

企画名		第 5 1 回全国子ども会育成中央会議・研究大会 第 2 部会（ユース運営シニア部会）					場所	名古屋 ローズコートホテル	
日時	西暦		開始	7 月	14 日	土 曜日	12 時	00 分	
	2018	年	終了	7 月	15 日	日 曜日	12 時	00 分	
時間	内容		担当：業務					備考	
初日 12:00	集合		執行部：集合					場所⇒ローズコートホテル○階○室 司会：星島	
12:10	打ち合わせ		執行部：打ち合わせ 内容⇒備品、進行内容、担当等。 会場部屋確認						
13:00	参加者として 行動		執行部： 開会式、表彰式、記念講演聴講等						
二日目 08:00	集合		執行部：中区役所 6 階会場にて会場設営 妹尾：現行確認、諸先生とあいさつ、打ち合わせ。 （ ）：受付＝出席確認と、席配置やグループの説明など						
09:00	部会開催		1. 開会宣言（井合） 2. 開会あいさつ（妹尾） ○参加への謝意と、本部会への願い 3. 部会趣旨説明（妹尾） ○本部会開催に当たり全国の子ども会で今SLが重要視されつつある現状の説明 ○上記を受け、ユースの発足に至った経緯と組織関係図による解説。 ○ユースとして本部会にて行いこと ○具体的な本部会の進行について 4. 部会参加者活動開始 ○（自己紹介後）グループ討議と行いつつ模造紙に書き込む。 内容 1 シニアリーダーに求められる具体的な業務や役割とは 内容 2 シニアリーダーとして、現在行っている働きなど ※各内容なるべく具体的に列挙せってもらう ※各内容ごと30分＋発表数班10分。KJ法（軸は重要性・具体性）で記入していく。 ※各班内にファシリテーターを置き、進行補助や質問への応答を行う。						
10：40	閉会		まとめ・閉会挨拶（妹尾） 閉会宣言（片田） 諸連絡（星島）						
会場図等									